

抗凝固薬・抗血小板薬等の手術前休薬の目安

分類	成分	商品名	リスク分類	術前休薬期間の目安	参考	備考
抗凝固薬	ワルファリンカリウム	ワ－ファリン錠・顆粒 ワルファリンK錠・細粒	出血	5日前	※3	禁忌：手術時、出血を助長することがあり、ときには致命的になることもある。※1
	ダビガトランエテキシレート	プラザキサカプセル		1～5日前	※1 ※3	注意：手術の24時間前までに投与中止すること。完全な止血機能を要する大手術を実施する場合には、手術の2日以上前までの投与中止を考慮し、従来の抗凝固療法と同様に代替療法（ヘパリン等）の使用を考慮すること。※1 Ccr≥60：4日前、Ccr<60:5日前 ※3
	アピキサバン	エリキュース錠		1～3日前	※1 ※3	注意：出血に関して低リスクは前回投与から少なくとも24時間以上の間隔をあげることが望ましい。中～高リスクは前回投与から少なくとも48時間以上の間隔をあげること。※1
	リバーロキサバン	イグザレルト錠・OD錠・細粒 リバーロキサバン錠・OD錠		1～3日前	※3	注意：本剤の投与中に手術を行う場合、臨床的に可能であれば本剤の投与後24時間以上経過した後に行うことが望ましい。※1
	エドキサバン	リクシアナ錠・OD錠		1～2日前	※3	注意：本剤の投与中に手術を行う場合、本剤の投与後24時間以上経過した後に行うことが望ましい。※1
抗血小板薬	アスピリン	アスピリン原末・腸溶錠 ニトギス配合錠A81 バイアスピリン錠 バッサミン配合錠A81 ファモスター配合錠A81	出血	7日前	※1 ※3	慎重投与：手術、心臓カテーテル検査又は抜歯前 1 週間以内の患者 ※1
	アスピリン・ランソプラゾール	タケルダ配合錠		7日～14日前	※1	注意：手術の場合には、14日以上前に投与を中止することが望ましい。※1
	アスピリン・ポノプラザン	キャブピリン配合錠		7日～14日前	※1	注意：手術の場合には、14日以上前に投与を中止することが望ましい。※1
	プラスグレル	エフィエント錠・OD錠 プラスグレル錠・OD錠		7日～14日前	※1	注意：手術の場合には、14日以上前に投与を中止することが望ましい。※1
	クロピトグレル	プラビックス錠 クロピトグレル錠		7日～14日前	※1	注意：手術の場合には、14日以上前に投与を中止することが望ましい。※1
	クロピトグレル・アスピリン	コンブラピン配合錠 ロレアス配合錠		10～14日前	※1	注意：手術の場合には、出血を増強するおそれがあるので、10～14日前に投与を中止すること。※1
	チクロピジン	パナルジン チクロピジン		5日前	※1	注意：手術の場合には、5日以上前に投与を中止することが望ましい。※1
	チカグレロル	ブリリント錠		3日前	※3	
	シロスタゾール	シロスタゾール錠・内服ゼリー プレタールOD錠・散		2日前	※3	
	ジピリダモール	ジピリダモール散・錠 ベルサンチン錠				
その他（抗血小板作用がある薬剤）	イコサベント酸エチル	イコサベント酸エチル粒状カプセル エパデールS・EM・カプセル	出血	7～10日前	※3	慎重投与：手術を予定している患者 ※1
	オメガー 3 脂肪酸エチル	ロトリガ粒状カプセル オメガー 3 脂肪酸エチル 粒状カプセル		3日前	-	慎重投与：出血の危険性の高い患者（重度の外傷、手術等）※1
	ジラゼプ	コメリアンコーワ錠 ジラゼプ塩酸塩錠		1日前	※3 ※4	
	サルボグレラート	アンブラーグ サルボグレラート塩酸塩錠		1日前	※4	
	リマプロストアルファデクス	オバルモン錠 リマプロストアルファデクス錠		1日前	※3 ※4	
	ベラプロストナトリウム	プロサイリン錠・ドルナー錠 ケアロードLA錠・ヘラスLA錠 ベラプロストNa錠 ベラプロストナトリウム錠		1～2日前	※4	
	イフェンブロシル	イフェンブロシル酒石酸塩錠 セロクラール錠		2～3日前	※2	
	トラピジル	ケタスカプセル		3日前	※2 ※4	多量の出血を伴う場合は、3日間を推奨している。※2
	ニセルゴリン	ニセルゴリン錠・細粒 サアミオン錠・散		2日前	-	
	セレキシバグ	ウブトラビ錠		1日前	※2	

参考
※1 電子添文、インタビューフォーム
※2 メーカー回答
※3 抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン
※4 周術期管理チームテキスト 第4版

女性ホルモン製剤の休薬の目安

分類	成分	商品名	リスク分類	術前休薬期間の目安	参考	備考
卵胞ホルモン製剤	エストラジオール	ジュリナ錠 エストラーナテープ ディビゲル ル・エストロジェル エストラジオール錠	血栓形成	休薬不要	※4	注意：術前又は長期臥床状態の患者※1 血栓ハイリスクと思われる場合は、手術のリスクによって4週間前から、術後2週間または完全に歩行できるまで中止する。 ※4
	エストリオール	エストリール錠 エストリール膣錠 ホーリン錠 ホーリンV膣錠				血栓ハイリスクと思われる場合は、手術のリスクによって4週間前から、術後2週間または完全に歩行できるまで中止する。 ※4
	エチニルエストラジオール	プロセキソール錠				
	結合型エストロゲン	ブレマリン錠		4週間前	※1 ※3	注意：手術前4週以内又は長期臥床状態の患者※1
黄体ホルモン製剤	プロゲステロン	ウトロゲスタン膣用カプセル エフメノカプセル ルティナス膣錠 ルテウム膣用坐剤 ワンクリノン膣用ゲル	血栓形成	休薬不要	※4	注意：術前又は長期臥床状態の患者※1 血栓ハイリスクと思われる場合は、手術のリスクによって4週間前から、術後2週間または完全に歩行できるまで中止する。 ※4
	ジドロゲステロン	デュファストン錠				血栓ハイリスクと思われる場合は、手術のリスクによって4週間前から、術後2週間または完全に歩行できるまで中止する。 ※4
	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	ヒスロン錠				血栓ハイリスクと思われる場合は、手術のリスクによって4週間前から中止する。※4 禁忌：手術後1週間以内の患者※1 注意：手術後1ヵ月以内の患者※1 ヒスロン錠と異なり上記禁忌や注意が設定 持田製薬：ディナゲスト錠 製品Q&A 血液凝固系には、ほとんど影響しないと考えられますので、術前休薬の必要はありません」と記載。※2
	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	ヒスロンH錠				
	ジエノゲスト	ディナゲスト錠/OD錠				
	ノルエチステロン	ノアルテン錠				
	レボノルゲストレル	ミレーナ ノルレボ錠				血栓ハイリスクと思われる場合は、手術のリスクによって4週間前から、術後2週間または完全に歩行できるまで中止する。 ※4 ノルレボ錠は緊急避妊薬
	ヒドロキシプロゲステロンカプロン酸エステル	プロゲデボー筋注				
	ジドロゲステロン	デュファストン錠				
卵胞・黄体ホルモン配合剤	ノルゲストレル・エチニルエストラジオール	プラノバル配合錠	血栓形成	休薬不要	※4	注意：手術が必要と判断される場合には、血栓症の予防に十分配慮すること。※1 注意：血栓症のリスクが高まる状態（体を動かさない状態、顕著な血圧上昇、脱水等）が認められる場合は、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。※1 血栓ハイリスクと思われる場合は、手術のリスクによって4週間前から、術後2週間または完全に歩行できるまで中止する。 ※4
	レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール	ジェミーナ配合錠		4週間前	※1	禁忌：手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内及び長期間安静状態の患者※1 注意：手術が必要と判断される場合には、血栓症の予防に十分配慮すること※1
	エストラジオール・ノルエチステロン	メノエイドコンビパッチ		休薬不要	※4	注意：術前又は長期臥床状態の患者※1 血栓ハイリスクと思われる場合は、手術のリスクによって4週間前から、術後2週間または完全に歩行できるまで中止する。 ※4
	エストラジオール・レボノルゲストレル	ウェールナラ配合錠				
	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	ルナベル配合錠LD/ULD フリウェル配合錠LD/ULD（後発品）		4週間前	※1	禁忌：手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内及び長期間安静状態の患者。※1 注意：手術が必要と判断される場合には、血栓症の予防に十分配慮すること。※1
	ドロスピレノン・エチニルエストラジオール	ヤーズ配合錠 ヤーズフレックス配合錠 ドロエチ配合錠（後発品）				
	エステロール・ドロスピレノン	アリッサ配合錠				
経口避妊薬（低用量ピル）	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	シンフェーズT28錠	血栓形成	4週間前	※1 ※3	禁忌：手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内及び長期間安静状態の患者。※1 注意：手術が必要と判断される場合には、血栓症の予防に十分配慮すること。※1
	レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール	アンジュ21錠/28錠 トリキュラー錠21/28 ラベルフィーユ21錠/28錠				
	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	マーベロン21/28 ファボワール錠21/28				

参考

- ※1 電子添文、インタビューフォーム
- ※2 メーカー回答
- ※3 周術期管理チームテキスト 第4版
- ※4 ホルモン補充療法ガイドライン2025年度版CQ405:周術期にHRTは中止すべきか？

糖尿病治療薬の休薬の目安

分類	成分	商品名	リスク分類	術前休薬期間の目安	参考	備考
ビッグナイト薬	メトホルミン	メトグルコ錠・メトホルミン錠 グリコラン錠	乳酸アシドーシス	2日前	※4	手術前後の投与は禁忌。ヨード造影剤投与後48時間は本剤の投与を再開しないこと。※1
グリミン薬	イメグリミン	ツイミグ錠	-	2～3日前	-	明確な休薬期間は不明。 半減期（反復投与時：13.61時間）を考慮すると体外排泄には2～3日程度必要。 手術前後の投与は禁忌。※1
チアゾリジン薬	ピオグリタゾン	アクトス錠・ピオグリタゾン錠	血糖コントロール悪化	手術当日	※5	手術前後の投与は禁忌。※1
スルホニルウレア薬（SU薬）	グリベンクラミド	オイグルコン錠・グリベンクラミド錠	血糖コントロール悪化	手術当日	※3 ※5	手術前後の投与は禁忌。※1
	グリクラジド	グリミクロン錠 グリクラジド 錠				
	グリメピリド レバグリニド	アマリール錠・グリメピリド錠 レバグリニド錠				
速攻型 インスリン分泌 促進薬 （グリニド薬）	ナテグリニド	ナテグリニド錠 ファステック錠	血糖コントロール悪化	手術当日	※3 ※5	手術前後の投与は禁忌。※1
	ミチグリニド	グルファスト錠・ミチグリニド錠				
DPP-4阻害薬	シタグリプチン	グラクティブ錠 ジャヌビア錠	血糖コントロール悪化	手術当日	※3	手術前後の投与は禁忌。※1 ※5では手術当日も服用。
	ビルダグリプチン	エクア錠・ビルダグリプチン錠				
	サキサグリプチン	オングリザ錠・サキサグリプチン錠				
	アログリプチン	ネシーナ錠				
	リナグリプチン	トラゼンタ錠				
	テネリグリプチン	テネリア錠				
	アナグリプチン	スイニー錠				
DPP-4阻害薬（週1回製剤）	トラグリプチン	ザファテック錠	血糖コントロール悪化	1週間前	-	手術前後の投与は禁忌。※1 明確な休薬期間は不明。※2
	オマリグリプチン	マリゼブ錠				
GPL-1アナログ	リラグルチド	ビクトーザ皮下注	胃排出遅延・誤嚥	手術当日	※6	手術等の緊急の場合での使用は禁忌。※1
	セマグルチド	リベルサス錠				
	インスリンデグルデク / リラグルチド	ゾルトファイ配合注				
GPL-1アナログ（週1回製剤）	デュラグルチド	トルリシティ皮下注	胃排出遅延・誤嚥	1週間前	※6	手術等の緊急の場合での使用は禁忌。※1
	セマグルチド	オゼンピック皮下注・ウゴービ皮下注				
	チルゼパチド	マンジャロ皮下注				
αグルコシターゼ阻害薬（α-GI）	アカルボース	アカルボース錠	血糖コントロール悪化	手術当日	-	絶食では服用する必要性はないと思われる。
	ミグリトール	セイブル錠・ミグリトール錠				
	ボグリボース	ベイスン錠・ボグリボース錠				
SGLT2阻害薬	ダバグリフロジン	フォシーガ錠・ダバグリフロジン錠	ケトアシドーシス	糖尿病:3日前 心不全:1日前 CKD:3日前	※7 ※8 ※9	適応：2型糖尿病、1型糖尿病、慢性心不全、慢性腎臓病 手術前後の投与は禁忌。※1 適応：2型糖尿病、慢性心不全、慢性腎臓病 手術前後の投与は禁忌。※1
	エンバグリフロジン	ジャディアンス錠				
	カナグリフロジン	カナグル錠				
	トホグリフロジン	デベルザ錠		糖尿病:3日前	※7	適応：2型糖尿病 手術前後の投与は禁忌。※1 適応：2型糖尿病 手術前後の投与は禁忌。※1 適応：2型糖尿病、1型糖尿病 手術前後の投与は禁忌。※1
	ルセオグリフロジン	ルセフィ錠				
	イブラグリフロジン	スーグラ錠				
ビッグナイト薬 / DPP-4阻害薬 配合錠	ビルダグリプチン / メトホルミン	エクメット配合錠 メホビル配合錠	乳酸アシドーシス	2日前	-	メトホルミンに準じて休薬期間を設定。
	アログリプチン / メトホルミン	イニシンク配合錠				
	アナグリプチン / メトホルミン	メトアナ配合錠				
SGLT2阻害薬 / DPP-4阻害薬 配合錠	イブラグリフロジン / シタグリプチン	スーージャヌ配合錠	ケトアシドーシス	3日前	-	SGLT2阻害薬（糖尿病での使用）に準じて休薬期間を設定。
	エンバグリフロジン / リナグリプチン	トラディアンス配合錠				
	カナグリフロジン / テネリグリプチン	カナリア配合錠				
チアゾリジン薬 / ビッグナイト薬	ピオグリタゾン / メトホルミン	メタクト配合錠	乳酸アシドーシス	2日前	-	メトホルミンに準じて休薬期間を設定。
チアゾリジン薬 / SU薬	ピオグリタゾン / グリメピリド	ソニアス配合錠	血糖コントロール悪化	手術当日	-	単剤に準じた休薬期間を設定。
チアゾリジン薬 / DPP-4阻害薬	アログリプチン / ピオグリタゾン	リオベル配合錠	血糖コントロール悪化	手術当日	-	単剤に準じた休薬期間を設定。
グリニド薬 / α-GI	ミチグリニド / ボグリボース	グルベス配合錠	血糖コントロール悪化	手術当日	-	単剤に準じた休薬期間を設定。

参考

- ※1 電子添文、インタビューフォーム
- ※2 メーカー回答
- ※3 周術期管理チームテキスト 第4版
- ※4 メトホルミンの適正使用に関するRecommendation
- ※5 Perioperative Hyperglycemia Management: An Update (PMID: 28121636)
- ※6 Multisociety Clinical Practice Guidance for the Safe Use of Glucagon-like Peptide-1 Receptor Agonists in the Perioperative Period (PMID: 39480373)
- ※7 糖尿病治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation
- ※8 心不全治療における SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation
- ※9 CKD治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するrecommendation